



平成 27 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 サンバイオ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 森 敬太  
(コード番号：4592 東証マザーズ)  
問い合わせ先 執行役員経営管理部長 角谷 芳広  
( T E L . 0 3 - 6 2 6 4 - 3 4 8 1 )

## 平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 4 月 8 日付「平成 27 年 1 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表した平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間(平成 27 年 2 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績値の差異が発生いたしました。また、平成 28 年 1 月期通期(平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)の連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異  
第 2 四半期累計期間(平成 27 年 2 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日)

	事業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 4 月 8 日発表)	百万円 377	百万円 △1,417	百万円 △1,421	百万円 △1,331	円 銭 △31.59
実績値 (B)	411	△555	△532	△440	△10.32
増減額 (B) - (A)	33	861	889	891	
増減率 (%)	8.9	—	—	—	

2. 差異発生理由

平成 28 年 1 月期第 2 四半期累計期間(連結)において、事業収益が増加した要因は、大日本住友製薬株式会社との共同開発に伴う開発協力金が見込みを上回ったことによるものであります。営業損失、経常損失、四半期純損失が減少した主な要因は、現在開始準備中の再生細胞薬 SB623 の脳梗塞用途フェーズ II b 臨床試験(米国)および外傷性脳損傷用途フェーズ II 臨床試験(米国)にかかる費用の計上時期が、当第 2 四半期累計期間から当第 3 四半期累計期間にずれが生じたことによるものであります。

なお、脳梗塞用途および外傷性脳損傷用途ともに開発は予定通り進捗しております。

(注) 当社は第 2 四半期累計期間の業績開示を平成 28 年 1 月期より行っているため、平成 27 年 1 月期第 2 四半期累計期間の数値の記載はしていません。

3. 平成 28 年 1 月期業績予想の修正  
 通期（平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 4 月 8 日発表)	百万円 2,074	百万円 △1,091	百万円 △1,109	百万円 △920	円 銭 △21.45
今回修正予想 (B)	1,835	△855	△838	△744	△17.47
増減額 (B) - (A)	△239	235	270	175	
増減率 (%)	△11.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 1 月期)	3,229	2,248	2,228	1,736	44.31

4. 修正の理由

現在準備中の再生細胞薬 SB623 の慢性期脳梗塞用途フェーズ II b（米国）および外傷性脳損傷用途フェーズ II（米国）の臨床試験については、それぞれ当期末までに開始する予定であります。また、日本においても、2015 年 7 月 8 日付「日本における再生細胞薬「SB623」外傷性脳損傷プログラムの開発に関するお知らせ」で発表したとおり、外傷性脳損傷用途の製造販売承認取得に向けて、本格的に開発を開始しております。

連結業績予想数値については、開発協力金収入の計上タイミングの見直し等により、当初の予想に比べ事業収益が減少する見込みです。利益面については、日本における外傷性脳損傷用途の臨床試験を新たに計画に織り込んだことで追加費用が発生するものの、現在開始準備中の再生細胞薬 SB623 の脳梗塞用途フェーズ II b 臨床試験（米国）および外傷性脳損傷用途フェーズ II 臨床試験（米国）については費用発生時期を当初見込みの当第 2 四半期累計期間から、臨床試験開始後の第 3 四半期、第 4 四半期及び翌期以降に重点的に発生する見通しに変更したことにより、損失が当初の予定に比べて減少する見通しとなったことから、通期の業績予想を修正いたしました。

なお、脳梗塞用途および外傷性脳損傷用途ともに開発は予定通り進捗しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上